

宮古島ラウンドテーブル2022

「子どもと共に学び、探究する教師を目指して」

～探究って？ 協働って？ 学び合うこととは？～

[日時] 令和4年8月4日（木） 受付：900

9:30～16:30

[会場] 宮古島市総合庁舎
2階大ホール

実践し
省察する
コミュニティ

Time schedule

9:30～10:00 開会、挨拶等

10:00～12:30 シンポジウム

講演(30分)「子どもと共に学び、探究する教師をめざして」

講師：福島昌子

実践報告(60分) ① 伊藤康弘(福井県私立さくら子ども園) ② 砂川晃輝(宮古島市立北小学校)

③ 内村佐保莉(東京都町田市立ゆくのき学園) ④ 西野功泰(札幌市教育委員会)

休憩(11:30～11:40)

パネルディスカッション(45分) コーディネーター 福島 パネリスト 伊藤 砂川 内村 西野

12:30～ 昼食

13:30～ 16:20 ラウンドテーブル

session I (13:30～15:10)

講演・実践報告を聞いて感じたことや思ったことを基に、自校の子どもの学びの現状や環境、自身の実践を振り返りながら教師としての自分自身を捉え直す。

休憩(11:30～11:40)

session II (15:10～16:20)

子ども達の主体的な学びを支える教師像・学校(職員)像を共有し、今後取り組みたいこと、深めたいことなど、これからの展望を語る。

16:20～16:30 閉会・諸連絡

※台風襲来及びコロナ感染拡大時にはオンラインでの開催になる場合もあります。
その詳細については申込時に入力頂いたメールにて個別にお知らせ致します。

主催：宮古島市教育委員会

共催：福井大学連合教職大学院

ラウンドテーブルとは…

「ラウンドテーブル」では、4～5人ずつの小グループでテーブルを囲みながら、自分の実践を持ち寄り傾聴し、語り合います。参加者が自身の活動を省察すると同時に他者の実践を丁寧に聞き取るという交流の中で、これまでの固定観念や役割・常識から離れて新たな可能性を探っていく営みです。校種や職種、立場の違いを超え、気づきや学びを互いに提供する対話によって、認識を深めていくことを目的として行うものです。

実践の過程をじっくり語り・聞き合う場、実践を共有して協働探究できる関係がより広く培われていくことが、その後の実践への問いの深まりを支える拠り所になるといえます。

参加申し込み〆切

7月22日（金）

宮古地区定員40名程度



【お問い合わせ】

宮古島市立教育研究所

指導主事 砂川 睦紀

Tel. 0980-73-1104

2125.mutsuki@city.miyakojima.lg.jp

PC・スマホから右の申し込みフォームをお願いします。

<https://forms.gle/5P2JEwdGeqkDiEEE7>